

1. ご利用にあたって

1 サービス概要

1.1 サービス内容

外為サービスは、以下のサービスをご提供します。

サービス項目	サービス概要
仕向送金	海外金融機関宛て送金依頼、および国内金融機関宛て外貨建て送金依頼を行うことができます。また、決済明細（計算書）を照会することができます。
外貨預金振替	外貨預金口座と円預金口座間での資金振替依頼を行うことができます。また、振替明細（計算書）を照会することができます。
外貨預金入出金明細照会	外貨預金口座の入出金明細、および残高を照会することができます。
輸入信用状開設・条件変更	輸入信用状の開設依頼、および条件変更依頼を行うことができます。また、手数料明細（計算書）を照会することができます。
被仕向送金照会	海外から到着した送金の入金明細（計算書）を照会することができます。
為替予約	為替予約の締結依頼・約定を行うことができます。また、締結確認票（コンファメーション・スリップ）を照会することができます。
リーブオーダー	リーブオーダー（指値注文）による為替予約の締結依頼・約定を行うことができます。また、締結確認票（コンファメーション・スリップ）を照会することができます。
為替予約明細照会	為替予約の残高明細、締結明細、履行明細を照会することができます。
相場情報照会	弊行の相場情報を照会することができます。

※仕向送金、および外貨預金振替では、10万通貨単位金額以上のお取引を当日にお申込み頂いた場合は、市場実勢相場を適用します。但し、この取扱いは事前に弊行が同意（承諾）した契約先に限定されます。

1.2 サービスご利用時間

1.2.1 サービス利用可能時間（金融機関営業日）

サービスの種類・内容			サービス利用可能時間（金融機関営業日）
仕向送金	当日扱い	10万通貨単位未満のお取引	8:00～12:00
		10万通貨単位以上のお取引	8:45～12:00
	先日付扱い		8:00～23:00
輸入信用状開設・輸入信用状条件変更			8:00～23:00
外貨預金振替	直物取引	10万通貨単位未満のお取引	相場公表後～14:00
		10万通貨単位以上のお取引	8:45～14:00
	為替予約指定取引		振替指定日当日 8:00～14:00
外貨預金入出金明細照会			8:00～23:00
被仕向送金照会			8:00～23:00
為替予約			8:45～17:00（翌日物 15:30）
リーブオーダー			8:45～16:00
為替予約明細照会			8:00～23:00
相場情報照会			8:00～23:00

※休祝日、および12月31日～1月3日を除く月曜日～金曜日（金融機関営業日）にご利用いただけます。

※システムメンテナンス等により、一時的にサービスを休止することがあります。

1.2.2 受付時限

サービスの種類・内容		受付時限
仕向送金	海外向け	送金指定日当日の12:00まで
	国内向け	
輸入信用状開設・輸入信用状条件変更		発行・変更希望日前営業日の23:00まで
外貨預金振替		依頼日当日の14:00まで
為替予約	翌日物	依頼日当日の15:30まで
	スポット・先物	依頼日当日の17:00まで
リーブオーダー	スポット・先物	依頼日当日の16:00まで

2

取扱通貨について

通貨	サービスの種類				
	仕向送金	輸入信用状開設・ 条件変更	外貨預金振替	為替予約	リーフオーダー
日本円	○	○	○	×	×
アメリカ・ドル	○	○	○	○	○
ユーロ	○	○	○	○	○
スターリング・ポンド	○	○	×	×	×
カナダ・ドル	○	○	×	×	×
オーストラリア・ドル	○	○	○	○	○
スイス・フラン	○	○	×	×	×
シンガポール・ドル	○	○	×	×	×
タイ・バーツ	○	×	×	×	×
中国元	○	×	○	○	×

3

セキュリティについて

■256ビットSSL (Secure Socket Layer) 暗号化方式

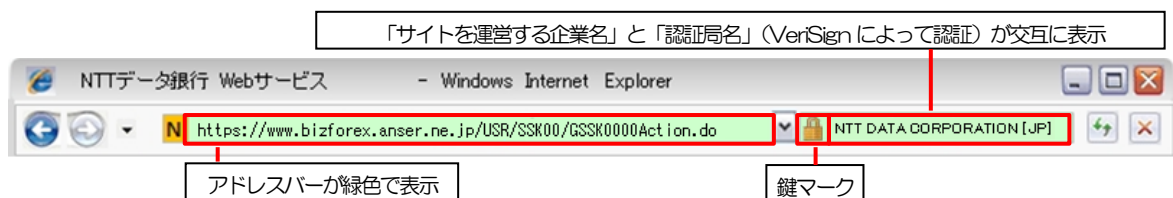
外為サービスでは、本サービスを安心してご利用いただけるよう、お客様のパソコンと外為サービスのコンピュータ間のデータ通信について、暗号化技術の256ビットSSL暗号化方式を採用し、情報の漏えい・書換え等を防止します。

■EVSSL 証明書 (Extended Validation) の採用

外為サービスでは、フィッシング詐欺への対策としてEVSSL証明書を採用し、セキュリティの強化を行っています。

EVSSL証明書は、実在する運営者の正当なサイトであることを証明する規格で、弊行の正当なサイトへアクセスするとアドレスバーが緑色で表示されます。

(Internet Explorer の場合)



⚠ 注意

- アドレスバーが赤色に変わった場合は、弊行に見せかけたフィッシング (不正) サイトですので絶対にログインしないようご注意ください。

■ログインID、パスワード等の管理について

「ログインID」「ログインパスワード」「マスターパスワード」は、お客様がご本人であることを確認するための重要な情報です。これらを第三者に知られること、またお忘れになることのないようご注意ください。定期的にパスワードを変更していただくことにより安全性が高まります。

⚠ 注意

- パスワードは絶対に第三者へ教えないでください。弊行職員がお客様にパスワードをお尋ねしたり、電子メールなどでパスワードの入力をお願いしたりすることはありません。
- パスワードを第三者へ知られた、もしくは知られたと思われる場合、直ちにお客様ご自身でパスワードの変更手続きを行ってください。

■電子証明書の採用

あらかじめお客さまのパソコンに弊行が発行する電子証明書を取得・格納し、ログイン時に電子証明書、およびログインパスワードによりお客さま本人であることを確認するものです。
ID・パスワード情報が漏えいした場合でも、電子証明書が格納されたパソコンを使用しない限りサービスを利用することができないため、第三者による不正利用のリスクを軽減し、セキュリティ面の強化がはかれます。外為サービスでは、電子証明書の取得・格納を必須とさせていただいております。

■リスクベース認証（追加認証）

お客さまが普段外為サービスをご利用されている環境を分析し、普段と異なる環境からのアクセスであると判断した場合、お客さまが登録された質問と回答による追加の認証を行います。
お客さまご自身しか知らない情報で認証を行うことにより、第三者のなりすましによる不正利用を防ぐことができます。

■ソフトウェアキーボードについて

パスワード入力時に、ソフトウェアキーボードを利用することにより、キーボードの入力情報を盗みとるタイプのスパイウェアからパスワードを守ることができます。

⚠ 注意

- ソフトウェアキーボードを使用されても、スパイウェアによる被害を受ける恐れが完全に無くなるわけではありません。
- スパイウェア対応のウィルスソフトをご利用ください。また、ウィルス対策ソフトは常に最新の状態に更新し、定期的にウィルスチェックを実施していただきますようお願いいたします。

■取引のご確認

ご依頼いただいたお取引の受付や処理結果等の重要なご通知やご案内をスピーディに電子メールでご案内いたします。
お客さまがお取引を実施したにもかかわらず電子メールを受信しない場合、またはお心当たりのない電子メールが届いた場合はお取引店または弊社サポートデスクまでご連絡ください。

■電子署名メール

弊社からお客さまに送信する電子メールに対して、弊行の電子署名を付与します。
電子署名により、なりすましメールとの区別が行えますので、フィッシング詐欺への有効な対策となります。

■ご利用履歴の表示

トップページに直近3回のご利用日時を表示し、不正に利用されていないかを確認できます。
ご利用日時にお心当たりのない場合は、お取引店または弊社サポートデスクまでご連絡ください。

■タイムアウトについて

ログアウトをしないで長時間席を離れた場合のセキュリティ対策として、最後の操作から一定時間が経過すると操作が継続できなくなる設定を行っています。
操作が継続できなくなった場合は、一度ログイン画面に戻ってから再度ログインしてください。
また、外為サービスを終了する際に、ブラウザの「×（閉じる）」ボタンを使用すると一定時間利用ができなくなりますので、必ず「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

4

操作に必要な ID・パスワード

■ログインID

お客さまの名前に代わるものであり、ログインの際などに必要となります。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した 6～12 文字で指定してください。（英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。）

■ログインパスワード

ログインする際に、ご本人様であることを確認するためのパスワードです。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した 6～12 文字で指定してください。（英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。）

なお、同じ文字を連続して入力することはできません。

■マスターパスワード

仕向送金などの依頼内容を入力後、弊行へのお取引の申込を行う際、承認操作を行う際、また各種登録事項の変更（メールアドレス等）を行う際などに入力が必要となります。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した 6～12 文字で指定してください。（英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。）

なお、同じ文字を連続して入力することはできません。

注意

- 「ログインID」、「ログインパスワード」、「マスターパスワード」は、それぞれ異なる文字列をご指定いただく必要があります。
- 「ログインパスワード」、「マスターパスワード」を一定回数連続で間違えた場合は、安全のため自動的にサービスの利用を停止します。

6

適用相場について

- 為替予約のご指定がある場合は、為替予約の相場を適用します。
- 為替予約のご指定がない場合は、以下の相場を適用します。

通貨	サービス種類	データ受付日時	取扱金額	適用相場
全通貨	仕向送金	送金指定日の前日まで	—	送金指定日における弊行所定の外国為替相場（公表相場）
		送金指定日当日の12：00まで	10万通貨単位未満	送金指定日における弊行所定の外国為替相場（公表相場）
			10万通貨単位以上	市場実勢相場による個別仕切り値※3
アメリカ・ドル ユーロ オーストラリア・ドル 人民元	外貨預金振替	振替指定日当日の14：00まで※2	10万通貨単位以上	市場実勢相場による個別仕切り値※3
		振替指定日当日の外国為替相場公表後～14：00まで	10万通貨単位未満	振替指定日における弊行所定の外国為替相場（公表相場）

※1：送金指定日を先日付とした場合は、一律、送金指定日における弊行所定の外国為替相場（公表相場）が適用されます。

※2：外貨預金振替サービスでは、10万米ドル相当額未満の直物取引について、相場公表前のお取扱いはできません。

※3：仕向送金、および外貨預金振替サービスでは、名古屋ビジネスダイレクト（外為サービス）にて市場実勢レートを提示します。但し、この取扱いは事前に弊行が同意（承諾）した契約先に限定されます。

7 操作方法の概要

7.1 メニュー操作

メニュー操作は以下の2とおりの方法があり、どちらでも操作が可能です。

ここでは、「仕向送金」メニューから「送金依頼 [画面入力]」を選択する場合の例を説明します。

(以下、本マニュアルのメニュー操作は、すべて「メニュー選択方式」での操作手順を記載しています。)

7.1.1 メニュー選択方式

メニュー上でのマウス操作により、操作画面に直接遷移します。



1 **仕向送金** にマウスをあてる

サブメニューを表示します。

2 **仕向送金 >** にマウスをあてる

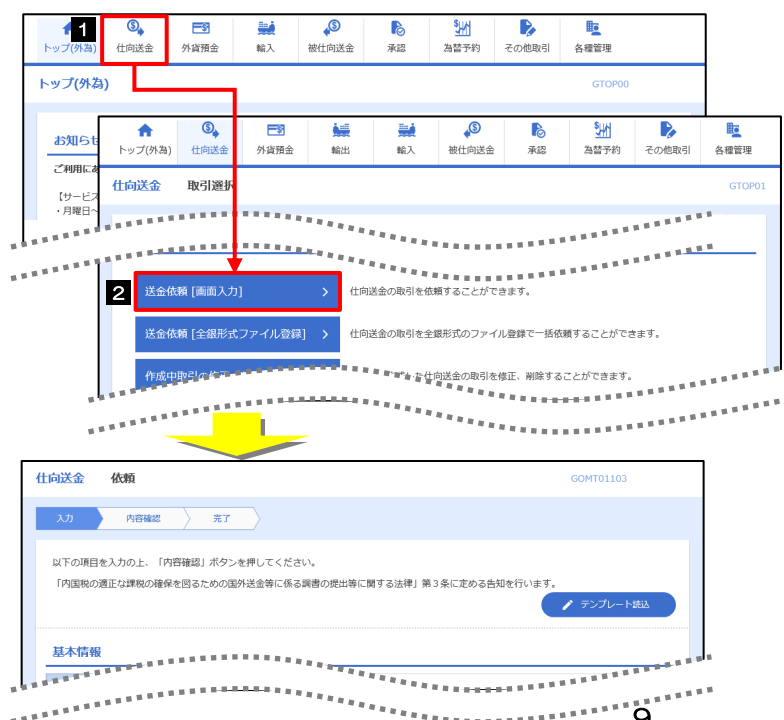
操作メニューを表示します。

3 **送金依頼 [画面入力]** を押す

「仕向送金 依頼」画面に遷移します。

7.1.2 画面選択方式

各メニューごとの取引選択画面を表示し、該当画面経由で操作画面に遷移します。



1 **仕向送金** を押す

「仕向送金 取引選択」画面に遷移します。




2 **送金依頼 [画面入力]** を押す

「仕向送金 依頼」画面に遷移します。

7.2 ボタンの説明


外為サービスでは、入力画面に各種のボタン機能を用意しています。
各ボタンの概要は以下のとおりです。（詳細は該当頁をご参照ください。）

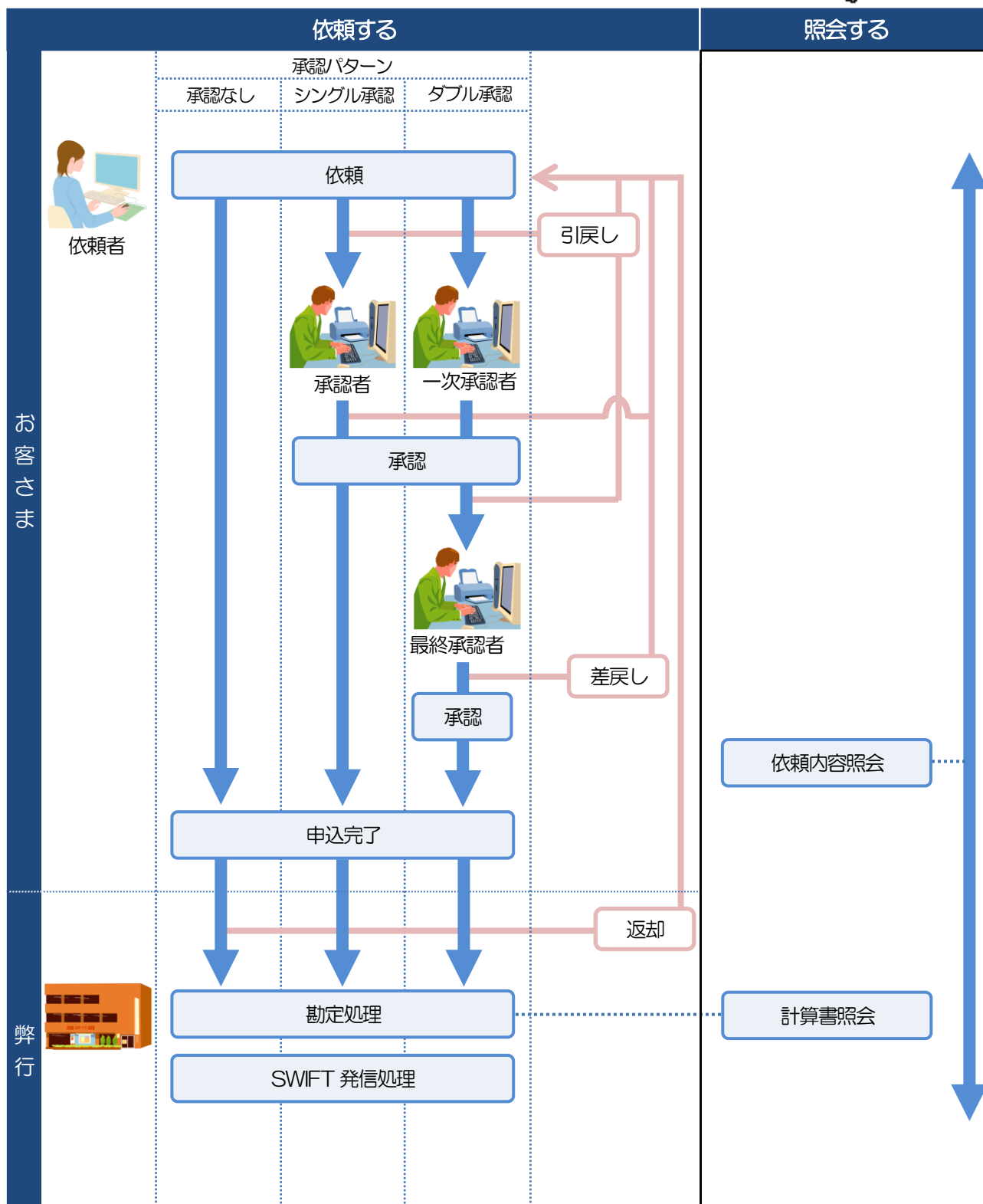
ボタン	機能概要	対象サービス				
		共通	仕向送金	外貨預金	輸入信用状	為替予約
 依頼人情報	お客さまが事前に登録した依頼人情報（送金人または輸入信用状の発行依頼人）が表示されますので、これを選択することで、依頼人名（発行依頼人名義）や住所等の情報が自動で入力されます。	-	-	-	○	-
 受益者情報	お客さまが事前に登録した受益者情報（送金受取人または輸入信用状の受益者）が一覧表示されますので、この中から選択することで、受益者名/住所や相手銀行等の情報が自動で入力されます。 >>>> P.137 参照	-	○	-	○	-
 送金目的情報	お客さまが事前に登録した送金目的情報が一覧表示されますので、この中から選択することで送金目的/送金理由が自動で入力されます。 >>>> P.141 参照	-	○	-	-	-
 テンプレート保存	依頼結果、修正結果、または照会結果画面から、よくある取引の内容をテンプレート（雛型）として登録することができます。 >>>> P.144 参照	-	○	-	○	-
 テンプレート読み込み	依頼入力画面から、お客さまがあらかじめ登録したテンプレート（よくある取引の内容を登録した雛型）を読み込むことで入力の手間を省くことができます。 >>>> P.145 参照	-	○	-	○	-
 複製作成	照会内容を複製/再利用したうえで、新しい依頼取引を作成することができます。 >>>> P.147 参照	-	○	-	○	-
 一時保存	入力を一時中断して保存することができます。中断した取引は作成中取引一覧画面より選択し再開することができます。 >>>> P.148 参照	-	○	-	○	-
 ファイル選択	各種添付書類を PDF 形式ファイルで登録することができます。 >>>> P.150 参照	-	○	-	-	-
 予約番号	ご成約済の為替予約が一覧表示されますので、この中から利用する予約番号を選択することができます。（為替予約残高明細照会サービスをご利用のお客さまのみご利用いただけます。） >>>> P.154 参照	-	○	○	-	-
 直物公示相場	弊行の公示相場を確認することができます。（外貨預金振替の直物取引に適用します。）	-	-	○	-	-
 受益者証明書	受益者証明書に関する定型文言（信用状条件）が一覧表示されますので、この中から選択することで、自動で入力されます。	-	-	-	○	-
 その他要求書類	その他の要求書に関する定型文言（信用状条件）が一覧表示されますので、この中から選択することで、自動で入力されます。	-	-	-	○	-
 印刷	お客さまのお申込内容（申込書）や弊社が作成した計算書などを PDF 形式ファイルで印刷できます。 >>>> P.157 参照	○	-	-	-	-
 ファイル取得	お客さまのお申込内容（申込書）や弊社が作成した計算書などをファイルで取得できます。 >>>> P.158 参照	○	-	-	-	-
	カレンダーが表示されますので、この中から日付を選択することができます。	○	-	-	-	-

	<p>マウス操作による入力を行うことでキーボード入力情報の不正記録（キーロガー）を防ぐことができます。 >>>> P.6 参照</p>	○	-	-	-	-
	<p>チェックすると一覧のすべての取引を選択し、チェックを外すとすべての選択を解除します。</p>	○	-	-	-	-
	<p>ユーザへの外為権限設定時、同一カテゴリ内の全ての権限チェックを一括で設定または解除することができます。</p>	○	-	-	-	-

7.3 操作の流れ

7.3.1 送金・輸入・外貨預金

各業務（仕向送金など）には「取引を依頼する」機能と「取引状況や計算書などを照会する」機能があります。取引を依頼する場合、承認パターンにより操作の流れが異なりますのでご注意ください 

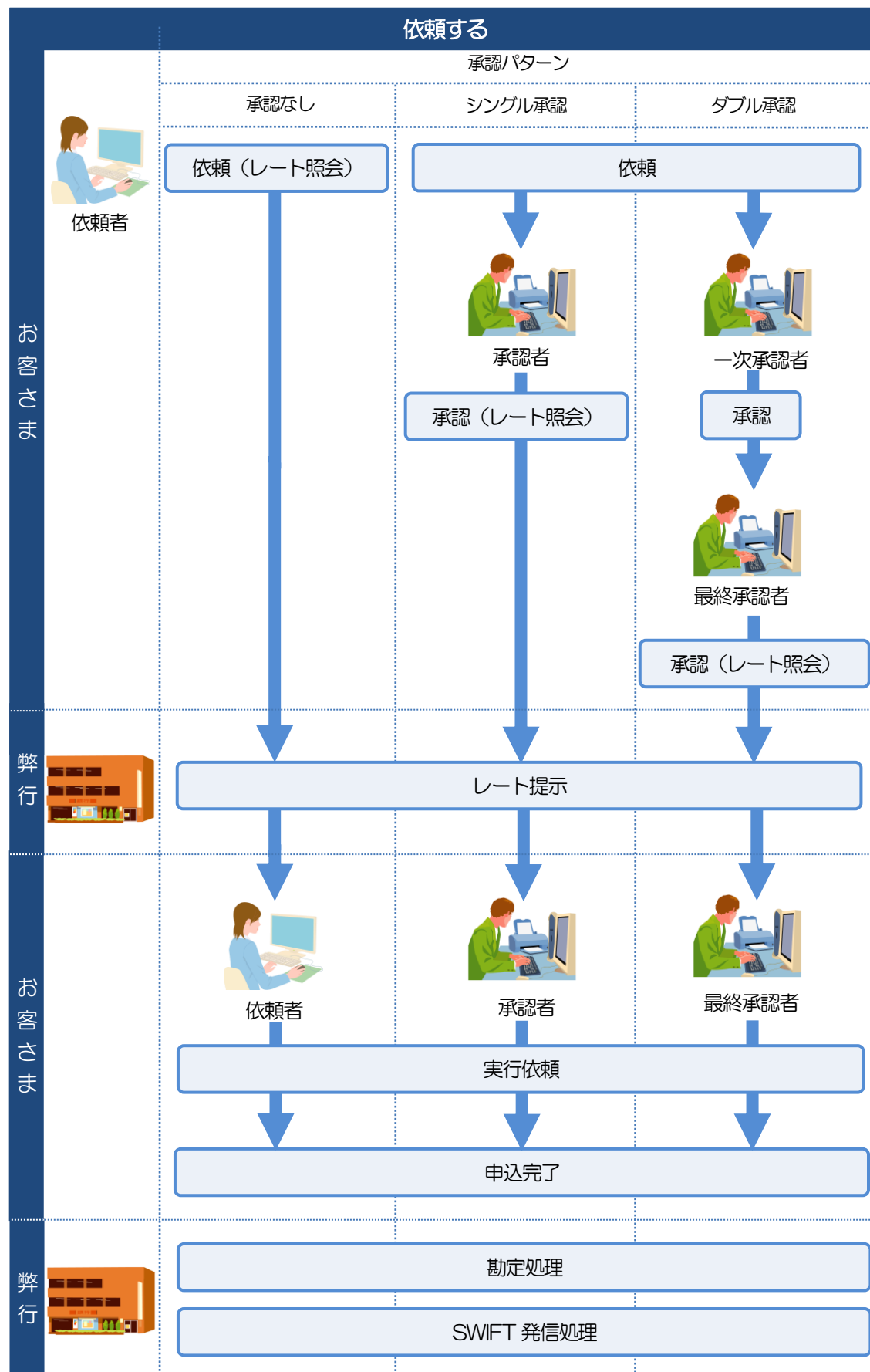




- ▶承認：弊行へのお取引の申込みにあたり、お客さま社内の承認者（承認権限をもつユーザ）が事前にお申込内容を再鑑・承諾することです。
承認には以下のパターンがあり、お客さま社内に適用する承認パターンを業務ごとに選択することができます。
▶▶▶▶ P.128 参照
- 承認なし：承認を行うことなく、直接お申込みいただけます。
 - シングル承認：お申込みにあたり、承認者1名の承認が必要です。
 - ダブル承認：お申込みにあたり、承認者2名の承認が必要です。
- ▶引戻し：承認前の取引を依頼者自身が取下げることです。▶▶▶▶ P.51 参照
- ▶差戻し：承認不可となった取引を依頼者に差し戻すことです。▶▶▶▶ P.90 参照
- ▶返却：弊行でお取扱いできない取引をお客さまに返却することです。

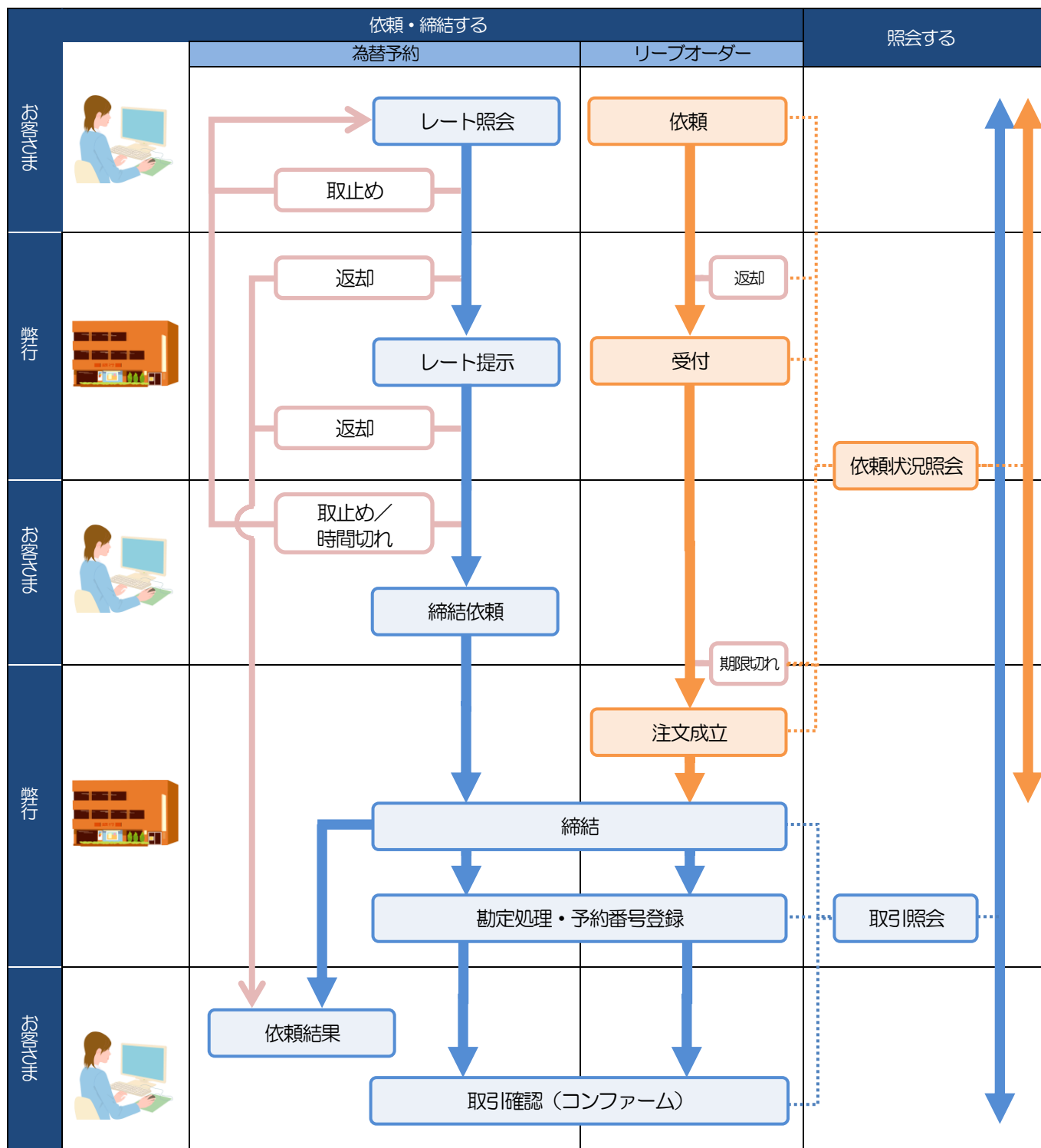


▶仕向送金、外貨預金振替では、10万通貨単位金額以上のお取引に対して市場実勢相場を適用する場合、お客さまのレート照会操作により、実勢レートが提示されます。



7.3.2 為替予約・リーブオーダー

為替予約・リーブオーダーには「取引を依頼・締結する」機能と「取引状況を照会する」機能があります。取引を依頼・締結する場合、為替予約とリーブオーダーで操作の流れが異なりますのでご注意ください。





- 取止め : レート照会中、または弊行からのレート提示後に、お客さま自身が該当の為替予約取引を中止（キャンセル）することです。
 >>>> P.101 参照
- 時間切れ : 弊行からのレート提示後、既定時間内に操作が行われなかったため、時間切れになった状態です。（この場合、該当の為替予約取引はキャンセル扱いとなります。）
 >>>> P.101 参照
- 受付 : リープオーダーの依頼を弊行が受け付け、お客さまからお預かりすることです。
- 返却 : 弊行が既定時間内にレートを提示できなかった場合や、弊行でお取扱いできない取引の場合に、取引をお客さまに返却することです。
- 期限切れ : お客さまの注文指値に到達しないまま預かり期限切れとなったリーブオーダー取引を、お客さまに返却することです。

8

外為サービスご利用時の注意事項

外為サービスの各サービスご利用にあたっては、下記の事項についてご注意ください。
また、お申込からご利用開始まで約10日間かかりますので、あらかじめご了承ください。

●仕向送金サービス

- 依頼人と送金人が同一名義でないお取引はお取り扱いできません。
- 諸般の事情によりお客さまの指定日当日にSWIFT 発信ができない場合があります。
- 送金資金のお支払口座は、事前のお申し込みが必要です。
- 送金資金は送金指定日当日にお支払口座から引き落としします。残高不足などにより引き落としができなかった場合、送金のお取り扱いは実施いたしません。
- 10万通貨単位以上のお取引は、原則、市場実勢相場を適用します。外為サービスによる市場実勢相場適用取引は、事前に弊行が認めた契約先に限定して提供するサービスとなります。又、マーケット状況によっては、レートが表示できない場合があります。
- お取り扱い金額には、上限金額等の制限があります。

●輸入信用状サービス

- 輸入信用状サービスのご利用にあたっては、弊行の審査が必要となります。審査の結果、ご希望に添えない場合があります。
- 諸般の事情によりお客さまの指定日当日にSWIFT 発信ができない場合があります。

●外貨預金振替サービス

- 仕向送金など決済用資金のお取り扱い（投資目的外のご利用）に限ります。
- 外貨預金口座間のお振替はできません。（同一名義の円普通預金または円当座預金と外貨普通預金との間のお振替に限ります。）
- お振替口座は、事前のお申し込みが必要です。
- リアルタイムでのお取り扱いではないため、お手続き完了までに時間がかかる場合があります。
- 10万通貨単位以上のお取引は、原則、市場実勢相場を適用します。外為サービスによる市場実勢相場適用取引は、事前に弊行が認めた契約先に限定して提供するサービスとなります。又、マーケット状況によっては、レートが表示できない場合があります。
- お取り扱い金額には、上限金額等の制限があります。

●為替予約サービス

- 為替予約サービスのご利用にあたっては、弊行の審査が必要となります。審査の結果、ご希望に添えない場合があります。
- 対円以外のお取引はお取り扱いしておりません。
- お取扱金額には、最低お取引金額等の制限があります。
- マーケット状況によっては、レートが提示できない場合があります。
- 相場の急変などにより、提示したレートでの為替予約締結ができない場合があります。（提示レートでの締結を確約するものではありません。）
- 締結された為替予約の取消や変更を行うことはできません。

9

弊行からの重要なお知らせ

「外国為替及び外国為替貿易法」に基づき、金融機関には制裁措置（対北朝鮮、対イラン等）に対する確認義務が課せられております。つきましては、外為サービスをご利用いただく際には、下記の事項についてご確認ください。

なお、承諾事項は法令の改正等により、変更になることがあります。

※外為サービスご利用にあたっては、以下の「承諾事項」をご確認ください。

※弊行は、お客さまが「承諾事項」の内容に事前に同意いただけたものとみなします。

【承諾事項】

●仕向送金サービスをご利用のお客さまへ

■「送金理由」欄に**英語**で具体的な理由を入力してください。（輸入または仲介貿易取引の決済代金の場合には「具体的な商品名」を入力してください。）

■輸入および仲介貿易取引の決済で、商品が以下の品目に該当する場合は、弊行にて原産地および船積地の確認をさせていただきます。

大変お手数ですが、送金指定日までに「原産地証明書」「売買契約書」「インボイス」「船荷証券」等、原産地および船積地が確認できる資料を、お取引店へご提示ください。

ご不明な点については、お取引店または弊社サポートデスクまでご連絡ください。

対象品目			
赤貝	ういの調製品	さるとりいばらの葉	なまこの調製品
あさり	えび	しじみ	はまぐり
あわび	かれい	ずわいがに	ひらめ
うに	けがに	たこ	まつたけ

■輸入の決済で、「船積地」（仲介貿易の場合は、さらに「貨物の仕向地」）等が中国における北朝鮮に隣接又は近在する省に所在する場合、北朝鮮向けの仕向送金でないことを確認させていただきます。

大変お手数ですが、送金指定日までに「原産地証明書」「売買契約書」「インボイス」「船荷証券」等、船積地等が確認できる資料を、お取引店へご提示ください。

ご不明な点については、お取引店または弊社サポートデスクまでご連絡ください。

北朝鮮の隣接省	
国名	省名
中国	吉林省 (Jilin Sheng または Jilin Province)
中国	遼寧省 (Liaoning Sheng または Liaoning Province)
中国	黒龍江省 (Heilongjiang Sheng または Heilongjiang Province)

※輸入および仲介貿易取引の決済で、船積地を入力していただく場合には、必ず船積地の属する都市名をご入力ください。

（注）船積地とは国名ではなく船積地の属する都市名を指します。

■「送金理由」欄に具体的な理由が入力されていないものや、輸入または仲介貿易の場合で「具体的な商品名」の入力がないもの、「原産地および船積地」等が北朝鮮ではないと確認できないもの、「北朝鮮の核関連計画等に寄与する目的」「イランの核活動等に寄与する目的または大型通常兵器等に関連する活動等に寄与する目的」で行う送金ではないと確認できないもののお申込は受付できません。

■中国人民元取引については下記の点にご留意ください。

- (1) 受取人は法人をご指定ください。
- (2) 受取人または受益者が、受取銀行または通知銀行で中国人民元決済が可能であることをあらかじめご確認ください。
- (3) 受取人が中国人民元決済に必要な手続きができていない場合、受取が遅延する、もしくは受取ができない場合があります。
- (4) 弊行からの発信は送金指定日の翌営業日以降となります。
- (5) 受取銀行のCNAPS 番号を、必ず「受取人へのメッセージ」欄もしくは「送金先銀行名」欄へご入力ください。CNAPS 番号のご入力がない、または不正確な場合、資金の返却・入金が遅延および予定外の手数料を差し引かれる可能性があります。

※CNAPS 番号とは、中国国内の決済システムが利用する銀行を識別するための12桁の番号です。

●輸入信用状開設・条件変更サービスをご利用のお客さまへ

- 「原産地および船積地」等が北朝鮮ではないと確認できないもの、「北朝鮮の核関連計画等に寄与する目的」「イランの核活動等に寄与する目的または大型通常兵器等に関連する活動等に寄与する目的」で行う取引ではないと確認できないもののお申込は受付できません。